



各位

会社名 株式会社ユニリタ  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 北野 裕行  
 (コード：3800、東証ジャスダック市場)  
 問合せ先 取締役 執行役員 已波 淳  
 グループ業務本部長  
 (TEL 03-5463-6384)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向などを踏まえ、2018年5月10日に開示した2019年3月期第2四半期(累計)ならびに2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

## 記

1. 2019年3月期第2四半期 累計期間連結業績予想値の修正  
 (2018年4月1日～2018年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,420	百万円 580	百万円 660	百万円 445	円 銭 52 94
今回修正予想(B)	4,500	350	445	275	32 71
増減額(B-A)	80	△230	△215	△170	
増減率(%)	1.8	△39.7	△32.6	△38.2	
(ご参考)前期連結実績 (2018年3月期第2四半期)	3,311	561	643	435	51 77

2. 2019年3月期通期 連結業績予想値の修正  
 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,300	百万円 1,400	百万円 1,480	百万円 1,000	円 銭 118 97
今回修正予想(B)	9,400	850	950	630	74 95
増減額(B-A)	100	△550	△530	△370	
増減率(%)	1.1	△39.3	△35.8	△37.0	
(ご参考)前期連結実績 (2018年3月期)	7,056	1,347	1,454	965	114 87

## 3. 修正の理由

現在、当社グループでは、今期を初年度とする3か年中期経営計画において、①「システム運用」「データ活用」の専門性を磨き事業基盤を更に強化、②最新のデジタル技術習得への積極的な投資、③社会課題を解決するために領域を絞った(人事総務、移動体、農業)業界 SaaS 事業の開発、を基本方針として掲げ、成長に向けた事業構造変革を目指し取り組んでいます。

当社グループでは、本中期経営計画に則り、事業環境の変化に対応すべく、顧客ニーズを捉えた製品・サービスや新サービス開発に注力する先行投資型の事業を進めていますが、計画推進の過程で、利益面において、期初の業績見通しとの乖離が下記理由により見込まれることとなったため、今般、当第2四半期累計期間ならびに通期の連結業績予想につきまして、期初の予想を修正いたします。

**【第2四半期累計期間業績予想の修正理由】**

- (1) 自社製品販売を効率的に拡大させるため、事業部向けならびに情報システム部門向けにソリューションの販売を強化しているが、上期中の成果に至っていない製品ソリューションがあったこと。
- (2) 戦略的な新技術習得ならびに既存製品開発力強化、また将来の事業機会のタイミングを的確に捉えるために、当初の計画を上回る技術者を投入したことにより、一時的に開発原価が増加したこと。
- (3) 移動体 IoT 型事業における、製品販売案件受注の期ズレと同事業において研究開発費が増加したこと。

**【通期業績予想の修正理由】**

通期の業績予想につきましても、当第2四半期累計期間業績予想の修正要因に加え、メインフレーム事業におけるお客様のシステムおよび機器更改のタイミングなどの要因を勘案し修正いたします。

なお、2019年3月期の配当予想（第2四半期末：1株当たり27円00銭、期末：1株当たり27円00銭、年間配当金：54円00銭）につきましては、変更ありません。

以 上

※本開示資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。